

証拠金取引を分かりやすく理解する

この章で学ぶこと

- 現物で利益 | 安く買い高く売る
- 下落で利益? | 高く売り安く買い戻す
- 差金決済の考え方
- 保証金の本質
- レバレッジの成り立ち



現物で利益 | 安く買い高く売る

テーマパークのチケットをヤフオクで売買してみたら？

- 2月平均 . . . 10,000円
- 7月平均 . . . 15,000円
- 利益を作るには？

2月に10,000円で買い、7月に15,000円で売る。

差額5,000円が利益！



下落で利益？ 高く売って安く買い戻す

- 手元に来年3月まで使わないチケットがあるとして
- 7月平均・・・15,000円
- 2月平均・・・10,000円

7月に15,000円で売り、2月に10,000円で買い戻す。

でも7月に売るチケットが無いときはどうすればいい？



持ってる人から借りればいい！



- でもタダじゃ借りれない
- 貸し倒れリスク・・・保証金
- 貸し賃・・・金利

1. 人から借りる
2. 取引する
3. 差益／差損を手にする
4. 返す
5. これって？

これこそ差金決済！

15,000円の手ケットを借りる

- 保証金・・・3,000円 (20%)
- 金利・・・1,500円 (10%)

借りた手ケットを7月に15,000円で売り、
翌2月に10,000円で買い戻して返却すれば？

差益・・・5,000円
金利・・・1,500円
純益・・・3,500円



保証金の本質



30,000円の現金があるとして、
もし全て保証金に充てたら？

- 保証金 1枚3,000円・・・10枚買える！
- 運用総額は 15,000円（市価）×10枚 = 150,000

借りたチケットを『**1枚あたり**』7月に15,000円で売り、
翌2月に10,000円で買い戻して返却すれば？

差益・・・5,000円×10枚 = 50,000円
金利・・・1,500円×10枚 = 15,000円
純益・・・3,500円×10枚 = 35,000円

レバレッジ

- 元手の現金 30,000円 (A)
- 運用額 150,000円 (B)
- 純益 35,000円
- 運用益 116%!
- レバレッジ $(B) \div (A) = 5$ 倍!



損失の場合は？

15,000円の手ケットを借りる

- 保証金・・・3,000円 (20%)
- 金利・・・ 1,500円 (10%)

借りたチケットを7月に**15,000円で売り**、
翌2月にテーマパーク人気急上昇で
19,000円で買い戻さなければならない？

差益・・・-4,000円

金利・・・ 1,500円

純益・・・-6,500円 (下落途中で追証・FXでは強制決済)



損失も5倍になるレバレッジ

元手の現金	30,000円 (A)
運用額	150,000円 (B)
損失単価 (金利)	-6,500円
レバレッジ	5倍
運用損失	-32,500円
運用率	-116%

レバレッジ・・・自分で下げられる！



レバレッジと付き合いには？

- 上限はブローカー毎に異なる
- ハイレバレッジのブローカーでも関係なし
- 自分でコントロールすれば良いだけ
- 自動車のアクセルと同じ
- 100倍ブローカーでも0.1倍運用が可能